



ジャガー・ルクルトが 2023 年 2 月にドバイで ステラー・オデッセイを開催

2 月の 1 か月間、スイス時計メーカーのジャガー・ルクルトは大規模展覧会、ステラー・オデッセイをドバイで開催し、計時の原点である天文現象にオマージュを捧げます。この展覧会には、時計愛好家および一般の方々をご招待し、宇宙を縮小して時を告げる、極小の驚異的な機械が宇宙の謎をどのように表現するかを知る絶好の機会を提供いたします。

ジャガー・ルクルトの時計職人たちが人類と宇宙とのつながりを文字通り、哲学的かつ独自の方法で手元で表示するセレスティアル コンプリケーション。私たちが夜空で観察できる驚異を探求するステラー・オデッセイは、そのセレスティアル コンプリケーションを通じて表現される壮大な現象を解き明かします。

2022 年の WATCHES & WONDERS でスタートしたステラー・オデッセイ。その後の世界の主要都市を巡るツアーの最初の目的地にはドバイが選ばれました。この展覧会は、ブルジュ・ハリファを背景に、ドバイ・ファウンテンの水上に「浮かぶ」壮観なパビリオンを舞台に開催されます。

「ジャガー・ルクルトの使命で最も重要なことは、ジュウ溪谷にある我々のマニュファクチュールを世界中に公開することで、時計製造の美術および工芸の背後にある秘密をより多くの人々と共有することです」とジャガー・ルクルト CEO のカトリーヌ・レニエはコメントしています。「中東の古代文明は計時の原点において非常に重要な役割を果たしました。このことから、ドバイがステラー・オデッセイのワールドツアーの最初の開催地であることを喜ばしく思っています。190 年にわたりジャガー・ルクルトを牽引してきた革新の類まれなる遺産や、今日我々が行っているあらゆる時計製造まで、途切れることなく続く数千年の歴史をたどる特別な機会です。」

ジャガー・ルクルトの最も注目に値する歴史的タイムピースだけでなく、類まれなアトモス・クロックやレベルソ ハイブリス・メカニカ キャリバー185 などの天体からインスピレーションを得た最新タイムピースを厳選して紹介するこの展覧会では、ビジターを宇宙へのバーチャルな旅へと誘うマルチメディア インスタレーションが設置されます。天体世界の驚異をアートインスタレーションや多感覚体験として表現します。また、ジャガー・ルクルトの創業者であるアントワーヌ・ルクル



トにちなんで名付けられたアトリエ・ド・アントワーヌでは、ステラー・オデッセイをテーマとする体験型の教育ワークショップが導入され、時計製造のノウハウが共有されます。

8つの章で星による計時の秘密を解明

展示会のメインとなるパビリオン内では、ステラー・オデッセイによって天体に着想を得た時計製造の創造的で文化的な宇宙を8つの章で探求します。ビジターはまず、時の起源、天体現象が時間の測定方法に与える影響、天文コンプリケーションを開発するためのジャガー・ルクルトの専門技術の原点からスタートします。続く5つの章では、章ごとに異なる宇宙現象が紹介され、貴重なヒストリカルウォッチや最新コレクションに加え、ジャガー・ルクルトがいかにか星や惑星の動きを複雑なコンプリケーションという形で再解釈し、手首の上で表現、測定、そして予測を行ってきたかを理解することができます。

バラエティに富んだ天体体験

ジオデシックドーム内にあるメインパビリオンの中央では、体験型のデジタルショーがビジターを空間と時間のバーチャルな旅へと導きます。ここでは、無限の宇宙空間と137億年の時を超えて、我々が知っている宇宙の起源から現在に至るまで、5つのエピソードで宇宙の謎が解き明かされます。

「ステラー・オデッセイでは、バラエティに富んだ体験を通じて宇宙のさまざまな解釈と計時との関係を提示し、ビジターにそれらをより深く理解していただくことができます」とカトリーヌ・レニエは述べています。「時計製造のノウハウを伝えるアトリエ・ド・アントワーヌのワークショップだけでなく、メイド・オブ・メーカーズプログラムの2つの特別なコラボレーションも含まれています。」

時計製造、職人技、アートの中に昔から存在する対話を拡大することを目的として設けられたメイド・オブ・メーカーズは、時計製造以外のさまざまな分野のアーティストや職人とのコラボレーションプログラムです。このプログラムは、ジャガー・ルクルトの創造性、専門技術、精度などの価値観を共有し、さまざまに異なる、時には予期せぬ素材や媒体を通じて、表現の新しい形を探求する作品作りをしているワールドクラスのクリエイターたちにフォーカスしています。今回のステラー・オデッセイのために、ジャガー・ルクルトは、フランスのマルチメディアアーティストであるギョーム・マルマンと、世界的に有名なミクソロジストのマティアス・ジルーにプロジェクトを依頼しました。

ギョーム・マルマンのインスタレーション、「PASSENGERS: THROUGH TIME」は、光、音、動きの複雑な関係性を提示し、彫刻、空間、時間などの従来の概念を再定義しています。ウォークスルーのカプセル内で、ビジターは無限の反射や目がくらむような視点を体験することができ、それぞれが主役となる星の旅へと誘われ、そこで時間とは何かという根源的な問題について考えさせられることとなります。ステラーアトリエのために、マティアス・ジルーが宇宙にインスピレーションを得た完



全オリジナルのソフトカクテルメニューを考案しました。星や天体の色や温度、形などを参考にして、身近な材料とジュウ渓谷の魅力的な香りやフレーバーを組み合わせています。

アトリエ・ド・アントワヌでは、ビジターは天文複雑機構の驚異と計時の原点となった天体にフォーカスした体験型のディスカバリー・ワークショップに参加することで、宇宙を発見する旅に出かけることができます。人々を魅了する世界に深く触れることができるまたとない機会です。

ステラー・オデッセイは、2023年2月4日土曜日から2月23日木曜日まで、ドバイ ダウンタウンのドバイ ファウンテンにて、毎日午後2時～午前12時まで開催しています。チケットは無料で、<https://online-booking.jaeger-lecoultre.com/domaine/theme12> よりオンラインで予約することができます。またガイド付きツアーもご利用いただけます。

ステラー・オデッセイについて

2022年、ジャガー・ルクルトは、人類が時間を計測する方法のまさに原点となった天文現象にオマージュを捧げます。シンプルな形状のムーンフェイズ表示から、極めて複雑な永久カレンダー、均時差、星図、交点月周期、近点月周期に至るまで、天文学的な機能は、マニュファクチュール創設時から、ジャガー・ルクルトが誇る複雑時計のポートフォリオにおいて重要な役割を担ってきました。太陽、月、恒星を用いた3種類の時間単位をすべて習得したジャガー・ルクルトの時計職人たちは、絶えず革新を続け、天文現象を表示するだけでなく、予測まで行う極めて高度で正確な機構を製作しています。今年、ジャガー・ルクルトは、体験型展示会や一連のテーマ別イベントを開催するステラー・オデッセイを開始します。ビジュアルアーティストやミクソロジスト（バーテンドー）とのインスピレーションに溢れたコラボレーションや、**Atelier d'Antoine**（アトリエ・ド・アントワヌ）における、天空がテーマの「ディスカバリーワークショップ」といった魅力溢れるプログラムも開催されます。ステラー・オデッセイでは、宇宙の神秘が、腕から覗くマイクロメカニカルの驚くべき技術の世界へといかに昇華されたかご覧いただけます。

[jaeger-lecoultre.com](https://www.jaeger-lecoultre.com)